

グリーン四国

四国森林管理局



高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088 - 821 - 2000 四国山の日

FAX 088 - 821 - 4834

ホームページアドレス <http://www.shikoku.kokuyurin.go.jp>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp

No.1066 2009年1月号

春 頌



四国山脈冬景色（伊吹山付近）



「グリーン四国」に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。



PRINTED WITH
SOY INK

環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

年頭挨拶



四国森林管理局長

中山 尊 裕

新年あけましておめでとう
ございます。

皆様におかれましては、ご
家族共々お健やかなお正月を
お迎えになったことと心から
お慶び申し上げます。

昨年の米国に端を発した金
融危機が実体経済にも波及し、
世界同時不況の様相が強まっ
ています。日本の雇用・消費
などの社会経済にも悪影響を
及ぼし、景気は後退局面に入
っています。こうした我が国
の社会経済情勢の下、国有林
の管理経営を担っている私ど
もは、最大限の努力を行い、
民有林を担っておられる各県
担当部局、関係機関等と一緒に
なって地域の雇用と経済の
改善に向け少しでもお役に立
ちたいと思っています。

さて、昨年は、一月から京
都議定書の第一約束期間が始
まるとともに、七月には、北
海道で洞爺湖サミットが開か
れ、地球温暖化防止をはじめ
さまざまな観点から森林・林
業の大切さや森林整備の重要
性と緊急性が改めて認識され
ました。また、四国では、愛
媛県で、去る十月二十五、二
十六日の両日、皇太子殿下を
お迎えし、「育てよう 緑あふ
れる 日本」の未来をテーマ
に第三十二回全国育樹祭が、
盛大に開催されたことも記憶
に新しいところです。

こうした中、私どもの局と
しては、各種の事業を着実に
実施するとともに、国民に開
かれた森林づくりをめざして
さまざまな取組を行いました。



「四国の森林づくり子どもサミット」(平成20年8月26日・27日)

既に締結している愛媛県、香
川県に続き、三月には徳島県
と、十一月には高知県と、そ
れぞれ「森づくりに関する覚
書」を結ばせていただきました。
現在実行されている森林
の整備・実施協定の実績
の上に立って、森林整備、地
域材利用、森林環境教育とい
ったさまざまな面で、今後、
四国4県と一緒に民有
林、国有林連携した事業を展
開していくこととしています。
また、八月には「四国の森林
づくり子どもサミット」、九月
には「美しい森林づくりに関
するシンポジウム」、十一月に
は高知県で「四国山の日」の

イベントを行いました。地域
の皆様のお力添えを賜り、い
ずれの行事も成功裡に終える
ことができました。この場を
お借りして、改めてお礼申し
上げます。

本年は、京都議定書の約束
期間の二年目に入り、間伐等
の森林整備をはじめとする森
林吸収源対策をより一層加
速・定着させるとともに、「美
しい森林づくり推進国民運動」
が更に地域に根づくよう地方
自治体、林業団体、NPO関
係者などのご協力を得ながら、
積極的に推進してまいります。
こうした取組に際しては、従
来にも増して、民有林とも連
携した木材の安定的・計画的
な供給と木質バイオマスも含
めた木材の有効利用といった
点に配慮していく必要がある
と考えています。また、生物
の多様性や森林の保健休養機
能(心身を癒やすセラピー効
果)といった社会的なニーズ
にも意を用いて事業を実施し
ていきたいと思っています。
さらには、「健康」「環境」と
いった国民の価値観に沿った
需要や公共的利用といった面
についての地域材の利用拡大
について、加工流通分野の
方々とも情報交換をしながら



「美しい森林づくりに関するシンポジウム」(平成20年9月28日)

一緒に対応していきたいと考
えています。

今年も、「国民の森林」とし
て親しまれるよう地域の皆様
や国民の目線に立って仕事を
行うとともに安心安全な国土
づくりに向けて事業を推進し、
四国の森林・林業・木材産業
が元気になるよう、そして、
地域社会に貢献できるよう頑
張ってまいりますので、関係者
の引き続きの応援を宜しくお
願います。

最後に、本年が皆様にとり
まして幸多き年となりますこ
とを心から祈念いたしまして、
新年のご挨拶とさせていただきます。